

松山校区における暮らしと自治会活動に関するアンケート調査
報告書（速報版）

2023 年 11 月

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系

小野悠研究室

（担当：学部 4 年 稲垣迪和）

アンケート調査概要

自治会の ICT ツール導入に関する住民の皆様のご意向、暮らしや自治会活動への影響を明らかにし、地域のまちづくりや自治会活動のあり方について検討することを目的にアンケートを行いました。

アンケートの概要を表 1、アンケートの設問については表 2 に整理します。

表 1 アンケート概要

実施期間	2023 年 5 月 16 日－2023 年 9 月 28 日
対象者	松山校区自治会の住民のみなさま
実施方法	Web 回答（110 件）、紙回答（660 件）
有効回答率	98.6%（759/770）
アンケート項目	<ul style="list-style-type: none">・地域の人々とおつきあい・ご自身の幸福感や生活満足度・お住まいの地域に対する意識・コロナ禍を通じての変化・自治会への参加状況・自治会活動への ICT ツール導入に関する意向・回答者の基本情報・インターネット利用に関する設問

① 地域の人々とおつきあい

ご自身の幸福感にどのような影響を与えているのか、また ICT ツール導入後にどのような変化をするのかを調査する際の導入以前の状況を把握することを目的としました。

② ご自身の幸福感や生活満足度

自治会への参加等とどのような関係があるのか、また ICT ツール導入後にどのような変化をするのかを調査する際の導入以前の状況を把握することを目的としました。

③ お住まいの地域に対する意識

ご自身の幸福感にどのような影響を与えているのか、また ICT ツール導入後にどのような変化をするのかを調査する際の導入以前の状況を把握することを目的としました。

④ コロナ禍を通じての変化

コロナ化を通じてどのような影響を受けたのかを把握することを目的としました。

⑤ 自治会への参加状況

住民の皆様の自治会への参加状況、自治会への意識を把握することを目的としました。

⑥ 自治会活動への ICT ツール導入に関する意向

自治会への ICT ツール導入に関する意向を把握することを目的としました。

⑦ 回答者の基本情報

回答して下さった住民のみなさまの属性を把握することを目的としました。

⑧ インターネット利用に関する設問

インターネット利用状況を把握することで、ICT ツール導入に関する意向とどのような関係があるのか等を分析することを目的としました。

表2 アンケート質問項目と選択肢

質問項目	設問	選択肢
地域の人々とおつきあい	地域の人々は一般的に信用できる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域に心配事や愚痴を聞いてくれる人がある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域に心配事や愚痴を聞いてあげる人がある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域に助け合える人がある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域の人々と挨拶をする	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	自分を地域の一員であると感じる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域では、地縁的な活動が盛んだと感じる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	あなた自身は、地縁的な活動にどの程度参加していますか	1. 全く参加していない 2. 年に数回程度 3. 月に1日程度 4. 月に2～3日程度 5. 週に1日 6. 週に2～3日以上
	あなたは、地域の人々とどの程度の頻度でお付き合いされていますか	1. 全くない 2. 年に数回程度 3. 月に1日程度 4. 月に2～3日程度 5. 週に1日 6. 週に2～3日以上
	あなたは、地域でお付き合いのある人がどの程度いますか	1. 全くいない 2. 1～4人程度 3. 5～9人程度 4. 10～24人程度 5. 25～49人程度 6. 50人以上
ご自身の幸福感や生活満足度	精神的にゆとりのある生活をしている	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない

	これまでの生き方に納得できている	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	他人に対して誇りを持てる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	今、幸福であると思う	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	社会の役に立っていると思う	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	あなたが住んでいる地域の交通利便性や設備について満足している	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	あなたが住んでいる地域の災害対策について満足している	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	最近の自分の生活に満足している	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	自分が生活の中でしていることにやりがいを感じている	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
お住まいの地域に対する意識	誰かが地域のことを批判したら、反論したいと思う	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域では安心した気持ちになる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域に誇りを感じる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域を自分の一部のように感じる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域の将来に関わりたいと思う	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域を離れたくないと思う	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域の雰囲気や土地柄が気に入っている	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域に自分の場所がある気がする	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域に愛着を感じる	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	地域が変わってほしくないものがある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない

コロナ禍を通じての変化	地域の人々とのつきあいが良くなった	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	ご自身の幸福感や生活満足度が高まった	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	お住まいの地域に対する意識が高まった	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
自治会への参加状況	自治会に加入していますか	1. している 2. していない 3. わからない
	加入している自治会をお答えください	1. 駅前大通一丁目 2. 駅前大通二丁目 3. 駅前大通三丁目 4. 駅前大通三丁目一区 5. 広小路一丁目 6. 広小路二丁目 7. 広小路三丁目 8. 新本町二区 9. 新本町三区 10. 花園町 11. 萱 12. 松葉町一丁目東 13. 松葉町一丁目西 14. 東小田原町 15. 西小田原町 16. 中柴町 17. 大手中柴町 18. 大国町 19. 東松山町 20. 西松山町 21. 中松山町 22. 南松山町 23. 前田南町 24. 広小路二丁目コンチェルト
	自治会や地域の各種委員で経験したことがある役職をすべて選択してください。	a. 会長・副会長・会計・監事 b. 組長 c. 各種委員 d. 経験なし
	自治会の活動に積極的に参加している	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	自治会の活動に満足している	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	自治会は必要だと思う	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
自治会活動へのICTツール導入に関する意向	導入について重要だと思うものをすべてお答えください	a. 地域清掃 b. 資源回収 c. ごみ集積場所の管理 d. 運動会・お祭り e. 交通安全 f. 防災活動 g. 防火・防犯 h. 声かけ・見守りの活動 i. 行政文書の配布・回覧 j. 地域情報紙の作成・配布・回覧 k. 掲示板の設置・管理 l. 行政への要望・行政との連携 m. 地域住民の相談対応 n. 街路灯の維持管理 o. 共同施設(集会所等)の維持・管理 p. 敬老のお祝い q. 慶弔事業 r. 募金
	導入について関心がある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	導入について不安がある	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	導入によって自治会がよりよくなると期待する	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
回答者の基本情報	導入によって地域がよりよくなると期待する	1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない
	年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
	性別	1. 女性 2. 男性 3. その他 4. 回答しない

	世帯構成	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 親と子の2世代同居 4. 3世代同居 5. その他	
	(1)同居人数(2)18歳未満の人数	自由記入	自由記入
	職種	1. 専業主婦・主夫 2. 無職 3. 学生 4. 臨時雇用・パート・アルバイト 5. 派遣社員・契約社員・請負業務・委託業務 6. 正規雇用されている一般社員・一般職員 7. 自営業主または家族従業者 8. 経営者・会社役員・団体役員 9. その他	
	居住年数	1. 1959年以前 2. 1960年以降1979年以前 3. 1980年以降1999年以前 4. 2000年以降2009年以前 5. 2010年以降2019年以前 6. 2020年以降	
	お住まい	1. 持ち家・一戸建て 2. 賃貸・集合住宅 3. 持ち家・集合住宅 4. 賃貸・一戸建て 5. その他	
インターネット利用に関する設問	インターネット利用頻度	1. 毎日少なくとも1回 2. 週に少なくとも1回 3. 月に少なくとも1回(毎週ではない) 4. それ以下(年1回以上) 5. 利用しない	
	インターネットを利用する端末(複数回答)	a. スマートフォン b. パソコン c. タブレット d. 携帯電話・PHS(スマートフォンを除く) e. その他 f. 利用しない	
	インターネットを利用するツール(複数回答)	a. メール b. Line c. Facebook・Instagram d. Twitter e. Zoom・Google Meet	

アンケート調査結果

(1) 回答者の基本情報

回答者は高齢の方が多く、女性の方が多結果となりました(図1、図2)。

世帯構成は子供のいる世帯が約半数あることがわかりました(図3)。また、持ち家・一戸建ての世帯が約8割あることがわかりました(図4)。長く住んでいる方と最近住み始めた方が混在していることがわかりました(図8)。

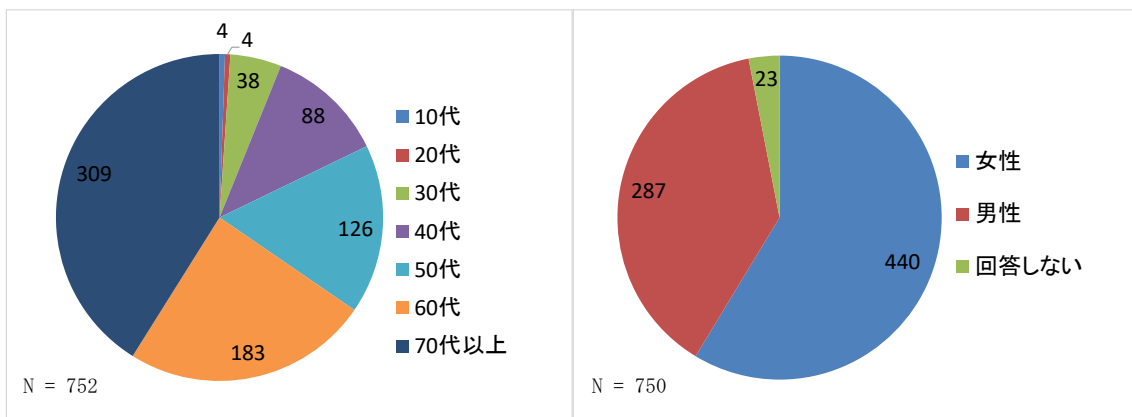


図1. 年齢

図2. 性別

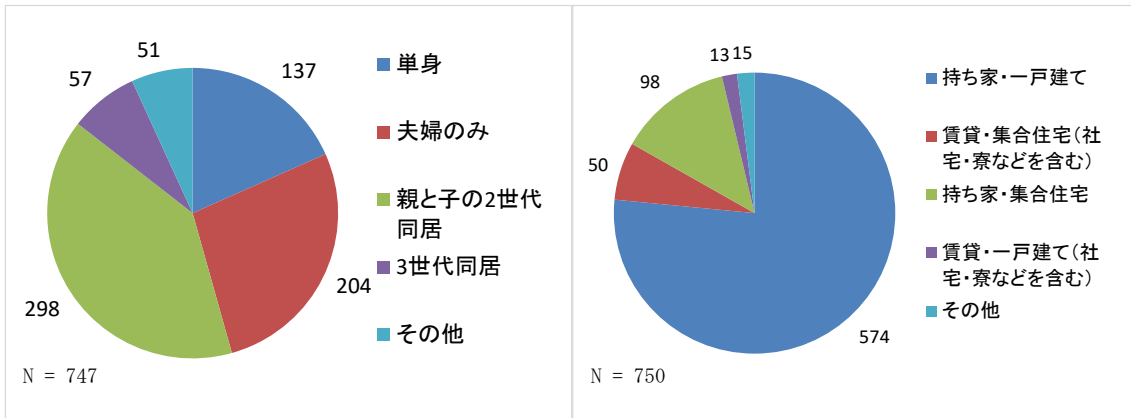


図 3. 世帯構成

図 4. お住まい

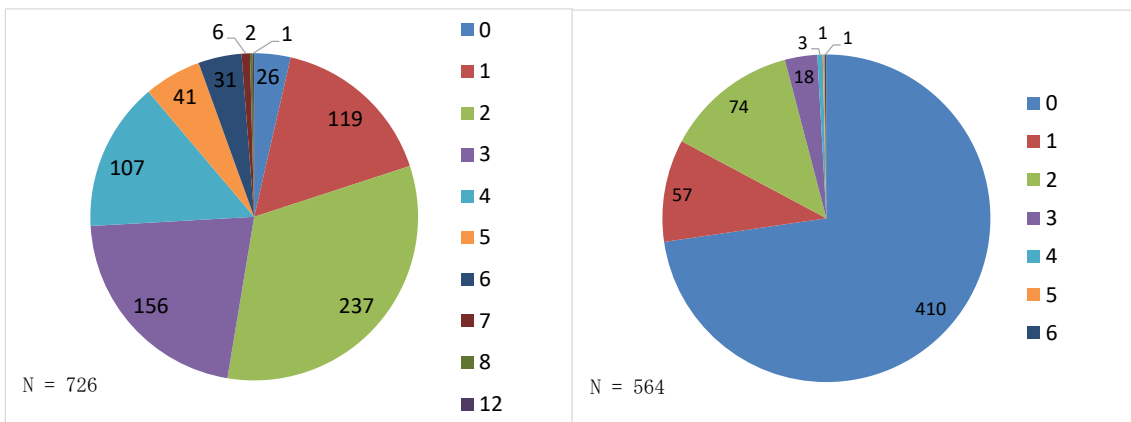


図 5. 世帯人数

図 6. 18歳未満の人数

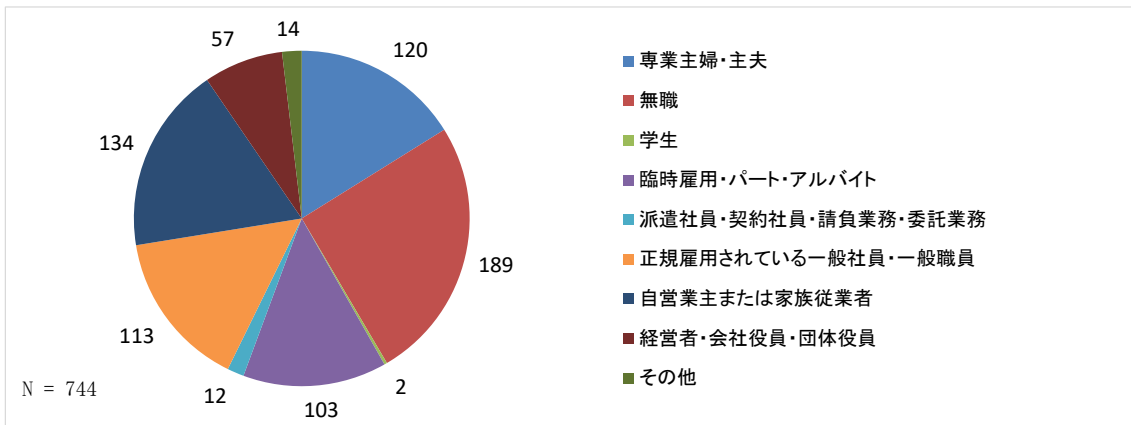


図 7. 職種

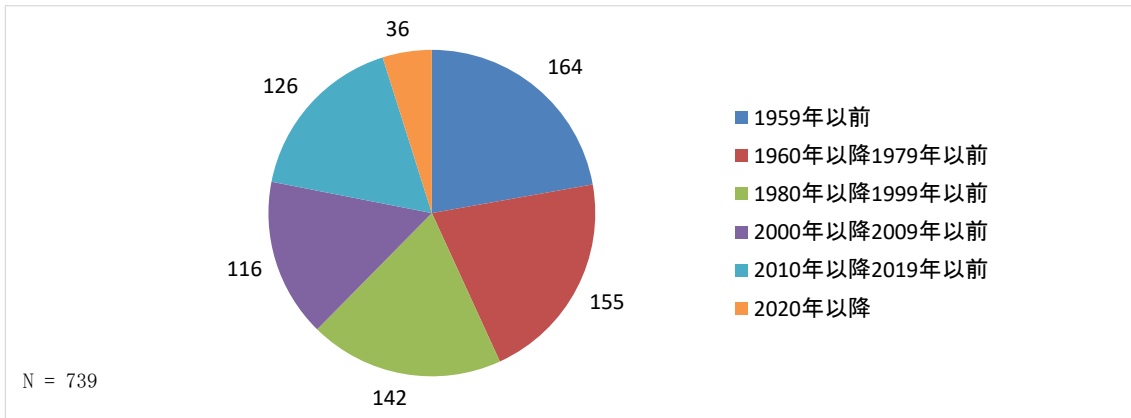


図 8. 居住年数

(2) 地域の人々とのおつきあい

「地域の人々を信用できる」という問いに対しては、あてはまる・ややあてはまるを合わせると約 7 割という結果となりました。ただ、「助け合える人がある」という問いに対しては、約 4 割という結果になりました (図 9)。

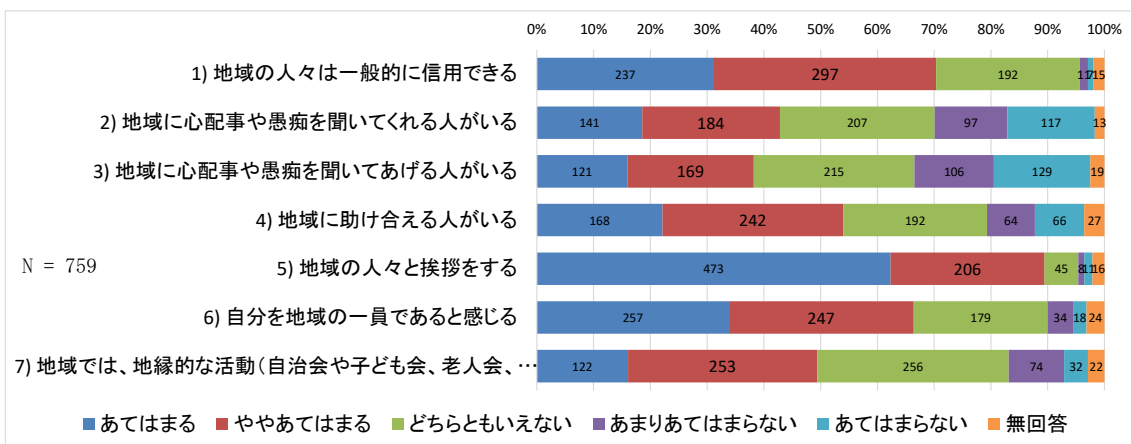


図 9. 地域の人々とのおつきあいに関する設問

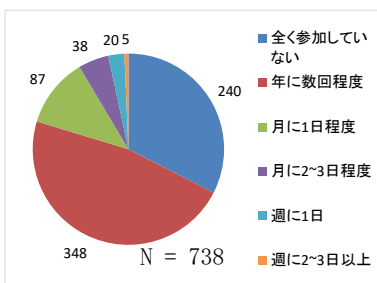


図 10. 地縁的な活動への参加

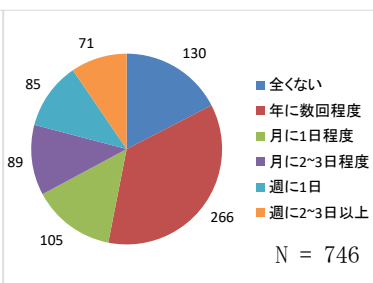


図 11. お付き合い頻度

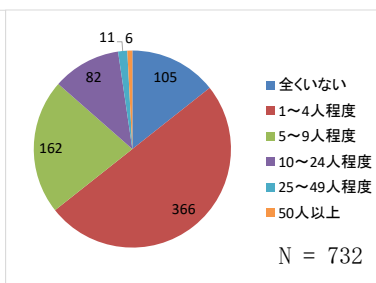


図 12. お付き合い人数

また、地縁的な活動への参加状況は、全く参加していない方が約 3 割、年に数回程度と回答した方が、約 5 割と意欲的ではないことがわかりました (図 10)。こういったことか

ら、おつきあいの頻度・人数を見てみると全くない・いないと回答したが一定数いることに影響していることが考えられます（図 11, 12）。

(3) ご自身の幸福感や生活満足度

全体的に、自分自身の幸福感、地域への満足度、生活への満足度ともに高いことがわかりました。特に、「今、幸福であると思う」という問いに対しては、あてはまる・ややあてはまるを合わせて約7割という結果になりました。地域の交通利便性も同じく約7割という結果になっていました。住みやすく感じている方が多いことがわかりました（図 13）。

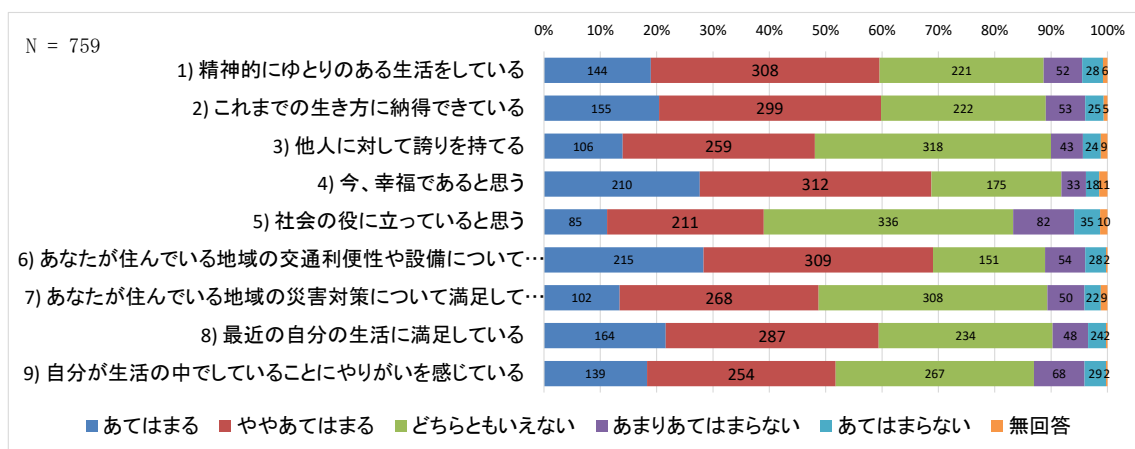


図 13. ご自身の幸福感や生活満足度に関する設問

(4) お住まいの地域に対する意識

全体的にみると、どちらともいえないと回答している方が多い結果となりました。先ほどの結果から、住みやすく感じている方が多いことがわかりましたが、批判されたら反論したいや将来に関わりたいという問いに対しては、あてはまる・ややあてはまるを合わせて2割～3割程度と多くはないことがわかりました。ただ、地域への安心感や愛着、雰囲気や土地柄を気に入っている方は、約6割いることがわかりました（図 14）。

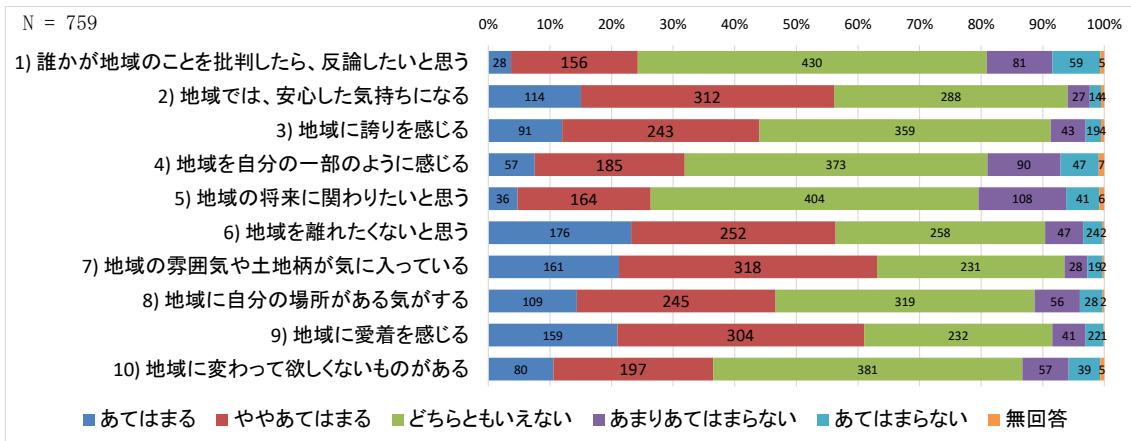


図 14. お住まいの地域に対する意識に関する設問

(5) コロナ禍を通じての変化

全体的にみると、どちらともいえないと回答している方がどの質問も6割近くいることがわかりました。ただ、あてはまらない・あまりあてはまらないと回答している方があてはまる・ややあてはまると回答している方よりも多い結果となりました。コロナ禍の影響を感じていない方が多い一方で、一定数の方は影響を受けていることがわかりました（図 15）。

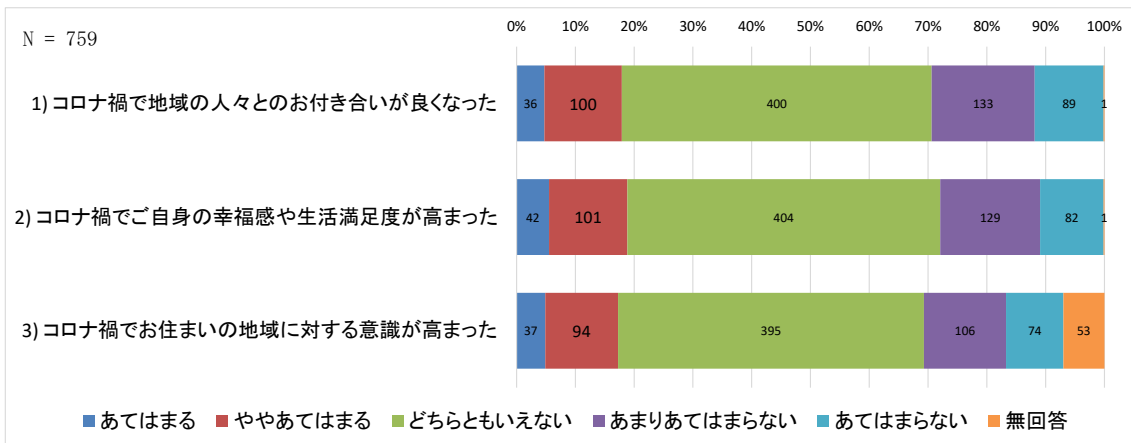


図 15. コロナ禍を通じての変化に関する設問

(6) 自治会への参加状況

自治会への加入率は、約9割が加入しているという結果となりました。ただ、わからないと回答している方が一定数いることがわかりました（図 16）。加入している自治会に関しては、ばらつきはありますがすべての町自治会の住民のみなさまが回答してくださったことがわかりました（図 17）。経験したことのある役職に関しては、回答者に高齢の方が多くありますが、経験したことのある方が多いことがわかりました（図 18）。

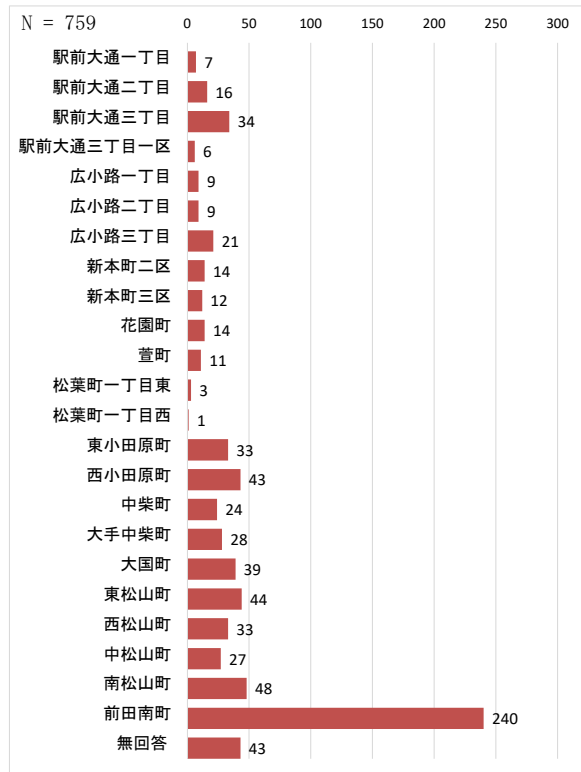
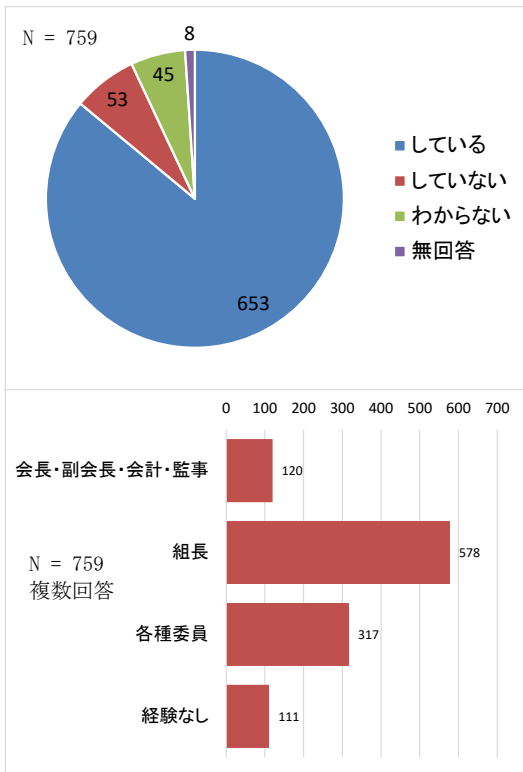


図 16. 自治会加入状況 (左上) 図 17. 加入している自治会 (右)
 図 18. 経験したことのある役職 (左下)

自治会活動に関する設問についてみると、自治会に積極的に参加している方は約 4 割近くいる中で、あまりあてはまらない・あてはまらないと回答している方も同じくらいいることがわかりました。満足しているかという問いに関しては、約 4 割の方が満足しているという結果になりました。どちらともいえないと回答した方も合わせると 9 割近くの方が現状の自治会活動に不満を抱いていないということがわかりました (図 19)。

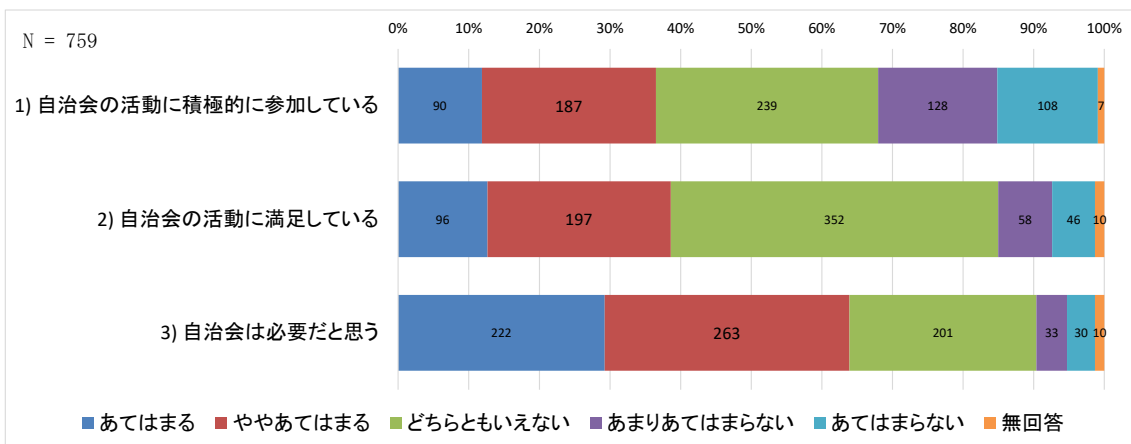


図 19. 自治会活動に関する設問

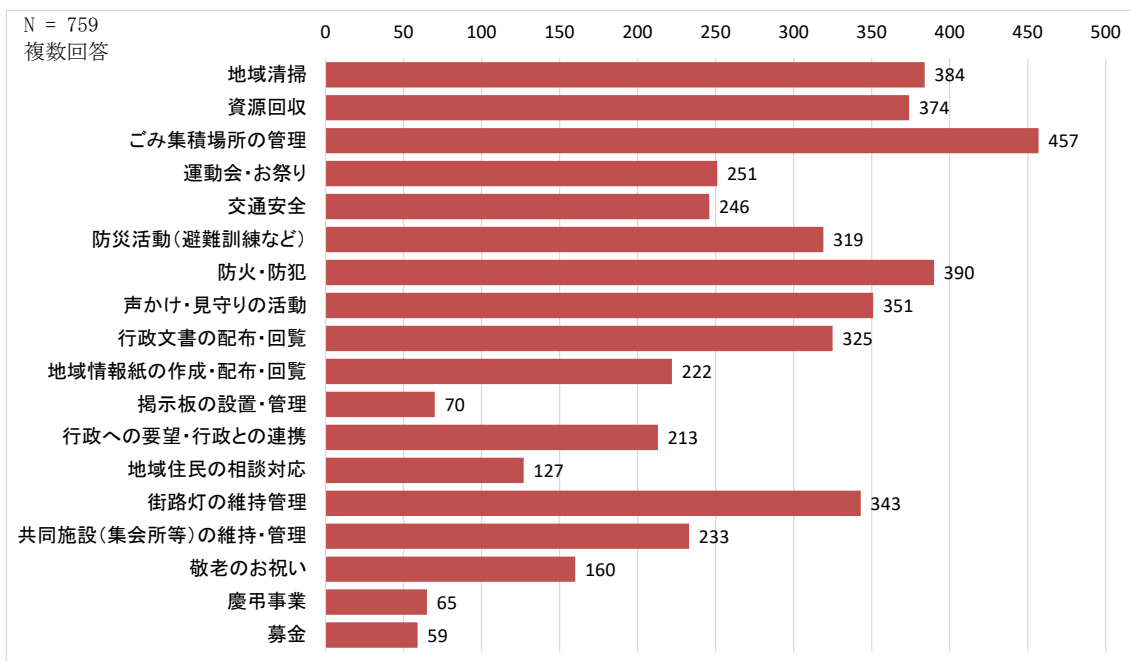


図 20. 自治会活動で重要だと思うもの

自治会活動で重要だと思うものに関しては、ごみ集積場所の管理が一番多い結果となりました。全体的に見ると、地域の維持管理に関する活動を重要だと感じている方が多いことがわかりました(図 20)。

(7) 自治会活動への ICT ツール導入に関する意向

全体的にみると、全ての問いに対する回答の割合がほとんど同じという結果になりました。ただ、不安があるという問いに関しては、あまりあてはまらない・あてはまらないと回答しているの方が僅かに多いという結果となりました。また、ICT ツールという言葉が浸透しておらず、無回答という方が一定数いるという結果となりました(図 21)。

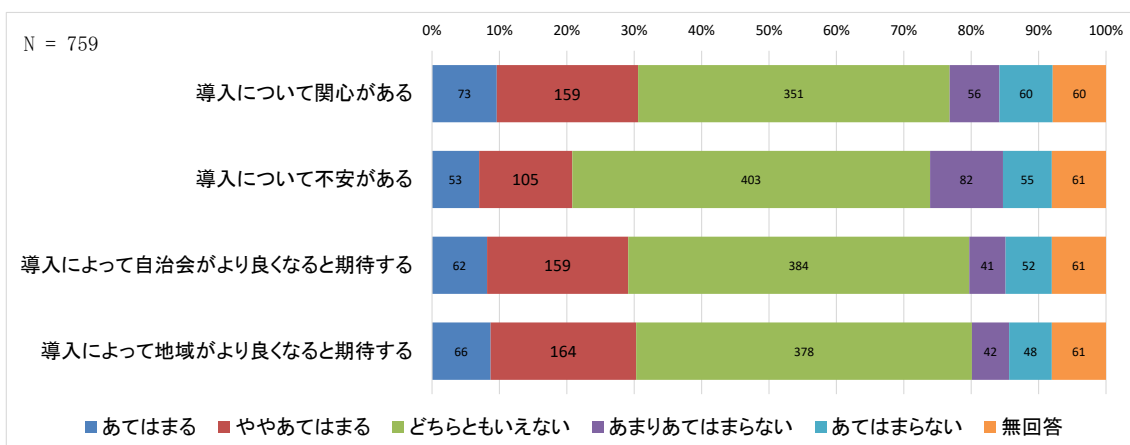


図 21. 自治会活動への ICT ツール導入に関する意向

(7) インターネット利用に関する設問

インターネット利用頻度は毎日少なくとも一回という方が約8割いることがわかりました。一方で、利用しないという方が約2割いることがわかりました（図22）。

インターネットを利用する端末はスマートフォンが一番多い中で、パソコンを利用する方が、約半数いることがわかりました（図23）。利用するツールは、メール・LINEがほとんどであるのに対して、Zoom・Google Meet といったオンライン会議ツールを利用している方が比較的多い結果となりました（図24）。

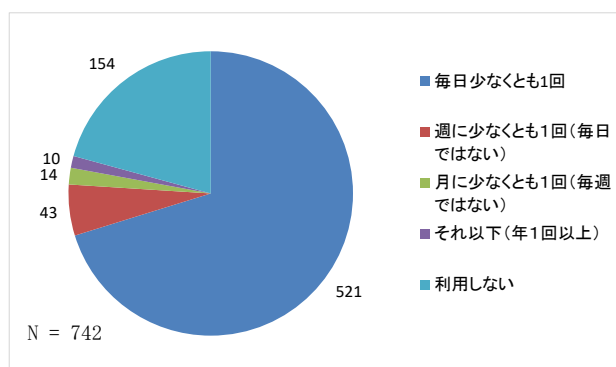


図22. インターネット利用頻度

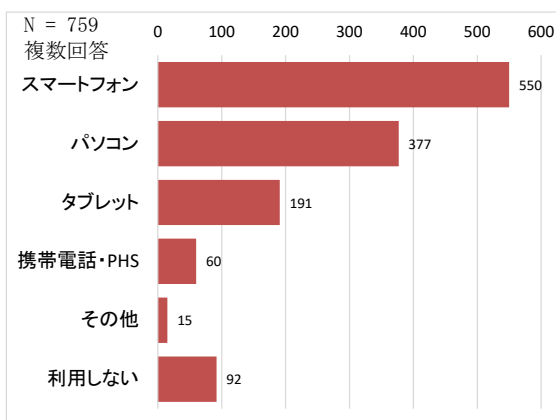


図23. インターネットを利用する端末

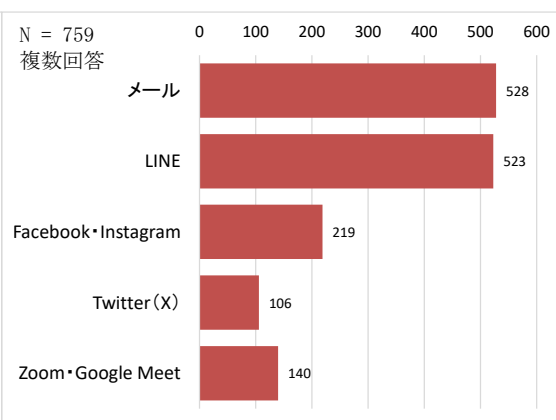


図24. インターネットを利用するツール

まとめ

本研究では、松山校区自治会の住民のみなさまを対象に、自治会への ICT ツール導入に関する意向を中心に、自治会への参加状況・地域の人々とのおつきあい・ご自身の幸福感や生活満足度・お住まいの地域に対する意識等を用いて分析を行いました。

松山校区の住民のみなさまは、新しく住まわれた方と長く住まわれている方が混在している中で、地域とのおつきあいや地域に満足している方、ご自身の幸福感や生活満足度が比較的高い地域であることがわかりました。

自治会活動に積極的に参加している方は比較的少ない結果となりましたが、自治会活動への満足感や自治会の必要性に関しては、比較的高い結果となっていました。

自治会活動への ICT ツール導入に関する意向については、多くの方がどちらともいえないという回答でしたが、一定数 ICT ツール導入に関心・期待があると答えている方がいることがわかりました。ただ、同じくらい一定数不安がある方もいることがわかりました。

インターネットの利用に関しては、毎日利用している方が多い中で、一定数利用しないという方がいることがわかりました。

以上の結果から、自治会活動への ICT ツール導入は、関心・期待のある方がいる中で、不安を感じている方も同じくらいいて、インターネットを利用しないという方もいることから、導入についての説明やサポートをしっかりと行うことが必要であると考えられます。また、ICT ツールに置き換えることが望ましい活動と置き換えられない活動を見極める必要があると考えます。こういった形で自治会活動へ ICT ツールを導入していくべきなのか、ICT ツールを導入することで地域や住民の方々にとってどんなメリットがあるのか等、今後さらに研究を進めていきたいと考えています。